時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上十五日迄	十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至卅行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

華族ハ其子弟を普通の學校に入らしむ可し（同之）

我輩は此程の紙上に於て現今華族子弟敎育法の不完全なる所以を論じ華族學校を中心として他に就學の餘地を狹くするの不策なる次第を陳述したれども尚ほ聊か論意の盡さゞる所もあれば重て爰に鄙見を記して華族諸氏の賢察を煩はさんと欲するは外ならず抑も學問の事たるや講堂內の敎育素より大切なるに相違なしと雖も同時に忘る可らざるは講堂外の敎育にして其學科々程の如何を問はず一種言ふ可らざるの邊に學風氣習なるものを存して知らず識らずの際に人を變化養成するの事實は古來の經驗に於て明白なる可し卽ち單に講堂內の敎育にのみ依賴して人物を作らんとすれば其弊は人を狹隘なる模型の中に逐縮せしむるの免れ難き由縁にして例へは華族敎育の法の如き嚴然たる華族學校を中心にして首尾全體を悉く一の繩墨の下に括らんとするの手段は秩序の整頓およそ想ひ見る可きものなれども人物養成の一段に至りては齊々たる多士果して斯る敎育の風下より顯はれ得べきや否や我輩の最も疑はざるを得ざる所なり官立の學校と私立の學塾とを比較して學科々程の優劣如何んを論じたらば學塾の不規律不完全なる一見して驚くに堪へざるの次第もなからんなれども斯る不規律の門よりして有爲の人物を出したると決して官立の學校に讓らざるの例あるも全くは講堂敎育の束縛を以て人才の發達を妨げざるの利益なりと云はざる可らず我輩の見る所を以てすれば今の華族就學規則の如きは之を一般官立學校の制限に較べて其規律の嚴重なると遙か數等の上に位する者にして隨て人を模型の中に陶冶するは憂なかるべきやと諸氏の爲めに聊か掛念する所のものなり

且つ一歩を進めて論ずるに今は華族と一概に無敎育なりと爲すの論者もあらんなれども我輩の解する所に於ては謂ゆる其無敎育とは唯單に實用上の學に暗らくして世事に不通なりと云ふの意味にして若しも文學美術の點より其人の學問を評したらば獨り無敎育なりと爲す能はざるのみならず其道に堪能にして廣く諸藝の心得あるとは尋常人の遙に及ばざる所も多からん舊時の公卿が詩を賦し歌を詠して花晨月夕に風流文墨を事とし或は琴碁書畫の鑑に於て韻事を鬪はせたる等の趣に至りては千古に其芳談を留めたる者も少からず斯る次第なれば武家大名までも自然に文事に魂を耽らして家の祖先は戰場に櫛風沐雨したる殺伐果敢の武將なるにも拘はらず後世の主公は詩歌管絃を弄んで其優美なること德川三百年の治世中、殆んど大名高家普通の習俗とも云ふ可きほどの有樣なりし卽ち文事一片の心得に於ては充分なる者ありと雖も未だ之を以て昔の大名に敎育を備へたりと爲す能はざる所以は唯その世事實學に暗らきの咎と云ふの外なかる可し今の華族諸氏も其文の心得に於て昔の大名に讓らざるは勿論なるべけれども謂ゆる文弱の文にして素より實用に無縁なれば今日子弟の敎育法を講ずるにも漫然たる讀書作文を以て足れりとするに止まらず其大本に遡りて敎育全體の精神より變革を加ふるに非ざれば今の青年子弟の人も相變らざる第二世文弱の華族たるべき恐なきや氣遣はしき次第と云ふ可きなり故に華族子弟の爲めにそるに其敎育の方法は學科々程の外に於て積弱の心身を一變せしむべき新手段を用ふると最も大切にして若しも此手段の行はれざる限りは尋常一樣の講堂敎育は所詮其効に望なしと斷言して差支えなかる可し

一說に華族子弟の體格は虛弱にして世間の少年と伍を同ふするを望むべきに非ざれば隨て其學校を別にするは實際に已み難き次第ならんと云ふ者あり自から一理あるに似たれども其虛弱の懸隔を矯むるの法は今の如く全く其敎育を別にそると又之に反對して民間の子弟と伍を爲し其中に混同して同窓共學を隨意ならしむると孰れが利益多かるべきや優者の群中に劣者其跡を留むる能はざるは物の定則にして虛弱なる華族の子弟が活潑なる民間の學生と同一場裏に競爭するの困難なるは數に於て明白なれども錦衣の公子必ずしも皆虛弱のみに限るべからず或は天性は虛弱なるも人爲の練修其宜しきを得るとあれば中途より變じて強壯の人とあるは珍しからぬ話にして縱令へ體格云々の遁辭を用ふるも我輩は決して華族敎育の特別主義を贊成し能はざるなり或は華族の子弟と民間の學生と混同すれば其品格を落すの憂ありと言ふか此言亦以て特別主義の防禦とするに足らず封建の昔し威迫恐嚇を以て貴族の聲望を繫ぎたる時代ならば兎も角も文明の今日社會の標準たるべき華族にして漠然たる一種品格の餘光を假て己れの尊敬を保たんとするが如きは抑も誤まりの甚しき者なり西洋の君主國に於ては皇子皇孫の尊きを以てして尚ほ世間通常の學校に敎育を受け民間の青年子弟と眠食を與にするの事例多けれども未だ其品格を落したるの談を聞かず況んや一般の貴族とや斷じて憂ふるに足らざるなり

以上の所論果して是なりとせば華族諸氏が今の華族學校を中心にして子弟の敎育を統轄せんとするは自家の不利のみならず天下の爲めに其財產門地を利用せんとする經世の眼より視ても惜しむ可き次第なれば早く此中心の束縛を離れ世間通常の學校に於て其敎育を踏ましむるの手段こそ大切なれ我輩は諸氏の之を行ふに勇なるを祈る者なり

官報

○閣令第二十三號
本年(七月)勅令第三十七號文官試驗試補及見習規則第二十九條在職判任官ニシテ直ニ本官ニ任スルヲ得ル者ハ在職三年ニ滿ル者ニ限ル若シ三年ニ滿サル者ハ先試補ニ任用シ前後通算シテ三年ニ滿ルヲ待テ本官ニ任スルモノトス

明治廿年十一月七日　內閣總理大臣伯爵伊藤博文

閣令第二十三號參照
明治二十年七月勅令第三十七號抄錄
第二十九條　在職ノ判任官ニシテ高等試驗ヲ經當選シタル者ハ事務練習ヲ要セス缺員アル場合ニ於テハ直ニ本官ニ任スルコトヲ得

○日本郵船會社命令書中追加
左の如く追加したる旨昨七日遞信大臣より同社へ達せり(遞信省)

日本郵船會社
明治十八年九月二十九日其會社ヘ下付シタル命令書中第二十八條第三項ノ次ヘ左ノ一項ヲ加フ
其會社ノ收入金少ナキカ爲メ以上ノ割合ニ從ヒ積立金ヲ爲シ得サル場合ニ於テハ通常海陸ノ經費及ヒ負債利子ヲ引去リ其殘額ヲ以テ各項ニ割合積立ツヘシ

明治廿年十一月七日　遞信大臣子爵榎本武揚
（以上本年十一月八日官報）

雜報

○東京府の學事　本年十月中東京府に於て小學校敎員の免許狀を授與せし者二人或る學科の免許狀同三十人高等科授業生同八人尋常科授業生同三人簡易科授業生同一人裁縫科授業生同五人又學校設立の認可は二十二校廢校は十校ありしといふ

○入營生徒の總計　敎導團に於て本年召募生徒の志願者は意外に增加し各府縣にて總計三千二百五十二名にして合格者は七百五十六名なりしが右合格者の內採用の人員は都合六百九十四名にて隊別人員は步兵科四百五十名、砲兵科百三名、騎兵科七十名、工兵科卅七名、喇叭手卅四名又生徒の入團期限は來る十二月四日より同十五日迄と定めたるよし

○名古屋商工業近狀　尾州名古屋は三都に次ぐ繁盛の都會なれども市內の富家豪商兎角進取の氣象に乏しく常に世事の變遷に刺衝せらるゝも依然として舊態を改めざりしが近來は漸に全體の商勢に變動を惹起し漸次商賣上の舊慣も破れ多少有爲の商人に活動の餘地を得せしめ殊に本年春以來は全般の景氣も稍回復して諸物貨の捌け行くと同時に漸く直段上騰の勢ひなるに依り市民は一層氣力を加へ事業上の計畫も頻りに起り從て商工諸會社の陸續設立そるを見るに至りたるが其事柄も種々樣々にて水陸運送の便を開くもあり或は土產の販路を擴張するもあり市街電燈點火の計畫等一々枚擧に暇あらず又紡績及び織物等は工場も追々增設し來り從前唯公債證書を守護するの外餘念なき引込思案の徒すら進んで其發起人と爲り又株主と爲り漸く實業に意思を傾くるの有樣とはなれり左れば土地の金滿家は是迄とても最も嫌ふ處なりしに近來多少世事に耳目を傾くるの氣風を生じ或は東京其他より商工業に關係ある人の來遊するに會すれば懇切に待遇して其談話を聞かんことを務め又時として集會の席にも顯はれて互に交際を通ずると爲り中には店の改革を實施して帳簿も簿記樣に改むる杯漸く新樣を喜ぶの有樣となりし今春以來は一般に洋服の流行を來し金滿家にして夏冬一通り宛の洋服を貯へざる者はなしといへり左れば洋服屋は爲に非常の繁昌を致し追々新に開業しさるも多く又西洋雜貨店卷烟草屋西洋酒販賣店は如何も到る所に增加し市街の有樣は愈々一新そべき勢ありて又茲に二三工場の實況を記載せんに愛知縣紡績所は明治十四年其筋より八千錘の紡績器械を拂下げたる者なるが種々の事情ありて一昨十八年に至り始て工場を新築し差詰め四千錘の器械を据付四十馬力の蒸氣機關を以て之が運轉を始めるに恰も好し昨年以來各地の織場にて紡績絲の需用頗に增加したる折柄同所の職工等も漸次製絲の熟練を積み來りて製絲の高も日に月に增加し既に本年前半季の如きは三千貫目以上の絲を製出したる由なるが之は僅に濃尾二國の需
地方の注文もあれば愈
馬力は蒸氣機關を東京
に於ては現に工場增築
ば來月初旬には又々四
更に二千錘の器械をも
目論見なりと同工場現
今度又百餘名募集中な
需川多兵が爲め其賃錢
する者極めて少なく依
織物を事業とする處
爲め石川縣金澤へ出張
を製出し大に一般の好
先たり其品柄を凡ろ通
の縞柄又模樣などを織
る者代價一枚に付一圓
め地方廻りの需用頗る
付け專ら敷物織立中
百枚前後ありと此他に
を織出し現に市中の總
枚ありと云ふ然るに同
品を織出し更に小機十
今其製品を一見したる
して光澤も却て之より
製造者の話しによれば
製そるものあり先年來
來高を取調べたるに一
とと云へり右新製の服
如何を試みたるに非常
賣捌を申込來るが爲め
增し今後は服地織上げ
備中なりとの報あり

○青森通信　十一月二
縣會　臨時縣會は愈々
木費及び縣會議諸費の
通常會を開く筈なり
機橋架設　青森灣は遠淺
運搬頗る困難なれば今度
んとの議起り過般鐵道技
て其見込を問合はせしに
のとなりしが之を地方稅
らざれば技師と協議の上
負擔するの內約整ひたる
圓餘は地方稅を要すべき
千圓を寄附すべしと約
たる地方稅の出費にして
とは卽ち是なりといふ
ぎ明年五月鐵道起工前に
馬盜　本縣下南部地方は
馬の奔惡と知はず盜み取
於て之を撲殺し皮を剝
自然牛馬を野飼する能は

○子殺しの自首　神田區
の石川縣平民煉瓦職北田
姉てふ(二十)を妻にして
る男子を設けたもてふは
も是といふ錢の取れざる

貴婦人方御用上等舶來小間物發賣廣告

今般左ノ地ニ於テ開業仕リ英佛米國ヨリ約定直輸入之婦人物其外共季節向流行ノ上等品陳列仕リ殊ニ

ダイヤモンド入金細工指環
襟飾腕飾襟留ピン等

各種新形粧飾品多分ニ仕入致シ偏ニ廉價ヲ旨トシ發賣仕候間陸續御用被仰付度奉願候以上

一當銀行株式五十九株
右ハ華族從五位子爵稻垣太祥所有ノ分今般世襲財產ト爲レ度旨願出候趣宮內大臣ヨリ被達候條故障アル者ハ來ル十二月十五日迄ニ當銀行ヘ申出アルヘシ
但株券番號承知致度者ハ當銀行株式掛ヘ申出有ヘシ
明治二十年
第十五國立銀行

○當銀行定式集會幷臨時總集會
來ル十二日午後一時ヨリ…
明治廿年十一月　日